

遊ぎたくなる！

# 歴史と文化のまち森田



**4~9 稲多史跡 (稲多元町)**  
天下三大船橋北詰に位置する稲多の宿は、北陸街道と九頭竜川の舟運が交差する要として大役を果たした



**14 八幡神社 (古市) 15 筆塚 (古市)**  
1173年創建、木曾義仲が若宮八幡と称した事に始まる。能筆で知られる大徳師の門弟が明治に建立



**16 八重巻白山神社 (八重巻中町)**  
**17 重陽寺址 (八重巻中町)**  
白山権現の像を御神体に、境内には延命地蔵尊や朝倉家代々の祈願所白山山重陽寺史跡などがある



**21 浄因寺 (下森田本町)**  
1408年加藤太夫判官景豊の孫宗豊(祐宗)は森田に生まれ蓮如上人の弟子となり高閣を建て創立



**26 重軽地蔵尊 (定正町)**  
三国の魚屋の娘おりうが背負えば軽く夫は重いという地蔵は織工として住み込んだ北内家に安置



**27 厳教寺 (上森田町)**  
弥陀三尊仏を伝えるこの寺の開基道順は織田信長が越前を攻めた時三尊仏を岩谷村岩穴に安置



**29 六才地蔵尊 (上森田)**  
1803年丸岡の松屋の娘が長屋橋の蛇に見込まれて入水自殺、その霊を供養する為祀られたとの説もある



**38 金戸地蔵尊 (春江町正蓮花)**  
北陸街道の石盛と寄安との中間、正蓮花への三叉路にある。舟九艘の渡し場で水難多発、死者供養の為建立



四十八艘舟橋全景 (柴田勝家時代)

## 旧北陸街道のいわれ

北国道、北陸道とも言う。東海道、山陽道等全国七道の一つをなす。北陸は若狭、越前、越後等七国からなる。福井市内では、浅水、舟橋、稲多、古市、下森田、上森田、石盛を経て旧坂井郡春江町正蓮花へ至る。正蓮花との接点に、花崗岩の標識が設置され、三つの面に北陸道、森田村石盛、磯部村正蓮花と彫られている。日本三大古典万歳の一つの越前万歳にも石盛から稲多の5つの集落が登場する。九頭竜川48艘の舟橋は全国的にも有名ではあるが、正蓮花と石盛の間に「九艘橋」があった。九頭竜川の枝川の葦の川が流れ、藩政時代に舟9艘をつないだ橋渡しとしていた。以前は渡し舟で往復し「金戸の渡し」は、重要な役割を果たした。水難事故も多く「金戸の地蔵」が建てられたと言われている。